

平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	果樹	単位数	2	履修学年・クラス	3年A組
担当者	果樹(実教)						
学習目標	○果樹の植物的特性や食生活における価値、農業の中での重要性などを理解する。 ○栽培や観察など体験的な学習を通して栽培管理の基本的方法を理解し、栽培できる能力を養う。 ○調査や実験を通して科学的に考える力や問題を解決する能力を高める。						
学習方法	○果樹に関する知識全般について広く学習する。 ○圃場での栽培管理実習により、植物の形態を学習する。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	学習内容に対して興味・関心を持ち、学習内容をより深く理解しようとする。				
	思	思考・判断・表現	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができる。実験や調査したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的に判断できる。疑問や問題点に対する解決方法を考えることができる。				
	技	技能	目的に即した栽培の技能を習得し、観察や計測ができる。				
	知	知識・理解	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、栽培と環境との関係を身につけている。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	第1章 果樹の種類と果樹栽培の動向	1. 果樹の種類と果実の利用 2. 果樹栽培の動向	○			○	[関] 果樹の種類と分類に関心をもって、共通点と違いなどを理解しようとしたか。原産地や来歴、利用の仕方などにも興味を持ち、調べようとしたか。 [思] 果樹を栽培することが、圃場の周りの環境や景観にどのような影響を与えるかを考えられる。 [技] 摘蕾、摘花、摘果などが的確に行えたか。 [知] 果樹生産がその国の気候と食生活・食文化とに深く関わっていることを理解できたか。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	第2章 果樹の生育と栽培環境	1. 果樹の生育と生理 2. 果樹栽培と環境		○		○		
	リンゴ栽培	摘蕾・摘花・摘果 人工授粉、訪花昆虫				○		
前期末	第3章 果樹の栽培管理	1. 苗木の育成 2. 開園と更新 3. 土壌管理 4. 栄養と施肥 5. 水分管理	○	○			[関] 果樹の各生育段階における生育特性にいろいろな疑問を持ち、それらを解決しようとするか。 [思] 栽培管理に関して、なぜそのような管理方法をとるのかということ、果樹の特性と比べて理論的に考えることができたか。 [技] 見直し摘果、夏季せん定などが的確に行えたか。病害虫や生理障害を的確に観察できたか。 [知] 主な果樹の各生育段階における特徴を理解できたか。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	リンゴ栽培	見直し摘果 夏季せん定 袋かけ	○	○		○		

後期中間	リンゴ栽培	6. 結実管理 7. 結果調節 8. 結果習性と整枝・せん定 9. 気象災害の防止 10. 病害虫の防除	○	○		○	[関] 果樹の生育が温度や光、土壌環境などの違いによって大きく変わることに関心を持ち、成長と環境との関係について探求しようとするか。 [思] 作型が現在のように分化してきた理由を考察することができたか。 [技] 葉摘、玉回しなどが的確に行えたか。 [知] 果樹の生育が温度や光、土壌環境などの違いによって大きく変わること理解できたか。好適な栽培環境について理解できたか。	確認テスト レポート 授業観察 考査
		葉摘、玉回し				○		
後期末	第5章 リンゴ	11. 植物生長調整剤の利用 12. 施設栽培と特殊栽培	○		○		[関] 果樹に関心があり、良い果実を育てるための方法を探求しようとするか。 [思] 主な果樹について栽培方法の理解ができたか。 [技] 収穫・選果・せん定を的確に行えたか。 [知] 果樹の種類と栽培方法が理解できたか。	確認テスト レポート 授業観察 考査
	リンゴ栽培	1. 栽培上の特性と品種 2. 生育の姿と栽培管理	○		○	○		
	リンゴ栽培	収穫・選果 せん定				○		